

前途洋々 素晴らしい未来へ

令和六年度 卒業証書授与式



令和7年3月1日(土)11時40分から、令和6年度第15回岩国高等学校坂上分校卒業証書授与式を挙行了しました。式には、山口県教育委員会の繁吉健志教育長さんにもご出席をいただき、厳粛かつ華やかな雰囲気の中、本年度卒業する74期(分校15期)生徒10名一人ひとりに、大田真一郎校長から卒業証書が授与されました。校長式辞、ご来賓祝辞、そして現生徒会長渡辺さんの送辞に対し、卒業生の代表として元生徒会長の藤本君が答辞で、自身の高校生活を振り返りながら、級友・後輩・教職員そして保護者の皆さまそれぞれに、感謝の気持ちがあ

ふれたを言葉を贈ってくれました。卒業生は坂上分校を巣立ち、それぞれの道に進みます。皆さんの前途が、素晴らしいものとなるよう祈っています。



藤本君による答辞

‘みち’をひらく 発表会開催 ～ 一年間の探究学習の成果を発表 ～

「‘みち’をひらく」とは坂上分校で行っている「総合的な探究の時間」の総称です。“未知”をそして“道”をひらこう!の意味をこめて‘みち’をひらくと名付け、学年ごとに設定された共通テーマについて、体験学習や探究学習を取り入れながら、3年間系統立てた学習を行っています。令和7年1月15日(水)8:50 からハーモニーみわを会場に、その集大成となる令和6年度「‘みち’をひらく」発表会を開催しました。



みちをひらく講演会
「まちをもっと魅力的に
するっておきの方法」
山口県立大学
国際文化学部教授
斉藤 理 先生

3年生



AIやロボットに支配された近未来の社会をテーマに、坂上分校の学校生活の中で繰り広げられるエピソードを劇で表現しました。テーマや構成、生徒たちの演技が素晴らしく、会場は大きな拍手に包まれました。

2年生



美和町の観光をテーマにグループ毎に観光ツアーのプランを考え発表しました。比治山大学の山田先生のご指導のもと、生徒は観光開発の方法を具体的に学びながら研究を進め、結果、興味深いツアープランが出来上がりました。

1年生



地域探究というテーマで、弥栄湖の魅力、紙漉き体験、岸根栗研究、初の試みであるバス釣り体験、神楽体験等、年間を通じて学習や研究した内容について、グループ発表しました。

坂上分校通信

令和6年度もあとわずかとなり、坂校だよりも今年度最終号となります。一年間、坂上分校の情報をお届けして参りましたが、いかがだったでしょうか?坂上分校は、地域社会で活躍できる人材育成をめざし、地域との結びつきをさらに深めて参ります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

